

会 議 録

会議の名称		令和 8 年度第 1 回洞峰学園コミュニティ・スクール協議会		
開催日時		令和 8 年(2026 年) 5 月 28 日(木)開会 14:30 閉会 16:00		
開催場所		つくば市谷田部東中学校 LL 教室		
事務局(担当課)		教育局生涯学習推進課		
出席者	委員	樋口 直宏、内野 隆之、鈴木 宏之、萩原 路子、竹内 崇、 伊藤 哲司、越智 五平、鈴木 朱里、大澤 良子、清水 森人、 加藤 千里、辻本 学、高野 和直、大森 哲實 谷田部東中学校：校長 菅谷 和美、教頭 浦和 真弓 教頭 酒井 洋一、教務主任 栗本 英理香 二の宮小学校：校長 神林 ふじ子、教頭 稲毛 美南子 教務主任 小神野 真人 小野川小学校：校長 岡田 浩、教頭 興水 浩美 教務主任 木村 寛紀 東小学校：校長 岡野 正人、教頭 飯塚 真由美 教務主任 村上 和宏		
	その他			
	事務局	教育局生涯学習推進課 参事：山口 健次 教育局生涯学習推進課 社会教育指導員 福田 綾子		
公開・非公開の別		☐ 公開 ☐ 非公開 ☒ 一部公開	傍聴者数	1 人
非公開の場合はその理由				
議題		熟議「今年度実施する活動の選定と実施に関する担当及び準備」		
会議録署名人			確定年月日	年 月 日
会議次第	1 開会 2 任命書交付 3 授業参観 4 説明・報告事項 ・令和 8 年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について ・令和 7 年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和 8 年度地域と学校の連携事業予算計画について 5 会長・副会長の選出 6 協議 (1)学校運営の基本方針について (2)熟議「今年度実施する活動の選定と実施に関する担当及び準備」 (3)その他 ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について ・諸連絡等 7 閉会			

<審議内容>

1 開会

2 任命書交付

不備がある場合は事務局へ連絡

3 授業参観

2 グループに分かれて7年生の授業参観

4 説明・報告事項

- ・つくば市が目指すコミュニティ・スクールについて
- ・コミュニティ・スクールの評価ガイドラインについて
- ・予算について
- ・昨年度の活動実績、予算執行状況

5 会長、副会長の選出

樋口委員を会長に、竹内委員を副会長に選出 → 承認

6 協議

(1) 学校運営の基本方針について

○ 学園グランドデザイン

- ・学園の教育目標に関する説明
- ・学園合同の教育活動の実践紹介（小中一貫教育）

○ 小野川小学校

グランドデザイン

- ・組織目標について
- ・目指す児童の姿について
- ・学級経営・楽しい授業づくりに注力
- ・コミュニティ・スクールとの連携について

○ 二の宮小学校

グランドデザイン

- ・教育目標について
- ・目指す教師像・目指す児童の姿
- ・一斉指導の授業から、自分で考え、学び合う授業へ。
- ・多様性への指導の充実、安全・安心な環境づくり、コミュニティ・スクールとの連携について
- ・教師の働き方改革

- 東小学校
グランドデザイン
 - ・教育目標について
 - ・学年・学級経営と働き方改革に注力
 - ・深い学びの実現
 - ・教師力の向上
 - ・ボランティアについて

- 谷田部東中学校
グランドデザイン
 - ・組織目標について
 - ・生徒が主体的に活動する学校を目指す。特色ある教育活動
 - ・校内有志ボランティアや ACTIVE 5 の取り組みについて
 - ・協働・対話を重視した学習活動

各校の予算計画

- (2) 熟議「今年度実施する活動の選定と実施に関する担当及び準備」
各校で集まり、コミュニティ・スクールの今後の活動予定や方針、課題について約 30 分間話し合った。

小野川小

- ・学校がやってほしいことをリスト化して、発信していく。
- ・地域の声かけ人材について

東小

- ・ボランティアが活発。ただし、まだまだ人手が足りないところもあるので、さらに募集をしていきたい。

二の宮小

- ・チラシを活用して、地域人材を募集していく。
- ・あいさつに力を入れていきたい。
- ・にのフェスの防災ブースに力を入れていきたい。

谷田部東中

- ・谷東 Day を、今後地域に開放していきたい。地域貢献を目指す。
- ・魅力ある学校を発信していきたい。
- ・運営において、大人が関わらなくてはいけない部分で、コミュニティ・スクールが関わっていく。

(3)その他

- ・昨年度のアンケートの結果について
- ・新しく委員になられた方への紹介動画について
- ・今後の予定について

7 閉会

令和 8 年度第 1 回洞峰学園コミュニティ・スクール 協議会

日時：令和 8 年 5 月 2 8 日（木）1 4：3 0～

場所：谷田部東中学校 LL 教室

次 第

1 開 会

2 任命書交付

3 授業参観

4 説明・報告事項

- ・令和 8 年度つくば市のコミュニティ・スクール重点項目について
- ・令和 7 年度地域と学校の連携事業決算報告及び令和 8 年度地域と学校の連携事業予算計画について

5 会長・副会長の選出

6 協 議

(1) 学校運営の基本方針について

(2) 熟議 テーマ

「今年度実施する活動の選定と実施に関する担当及び準備」

(3) その他

- ・コミュニティ・スクール協議会の今後の予定について
- ・諸連絡等

7 閉 会

洞峰学園

(小中一貫型小学校・中学校)



【シンボルマークの由来】

豊かに水を湛えた洞峰沼（青の楕円）、この自然に恵まれた地で育ち、新たな時代に羽ばたく若人たち（緑の翼）に、清らかな心（白いハート）を持ち続けて欲しいという願いを表現している。

小野川小学校



〒305-0067 茨城県つくば市館野 731

TEL029-836-0163 FAX029-836-3729

E-mail: ono01@tkb.ed.jp

1878年創立

15学級 児童数 269名

二の宮小学校



〒305-0051 茨城県つくば市二の宮 4-11

TEL029-855-7746 FAX029-858-1755

E-mail: nino01@tkb.ed.jp

1988年創立

20学級 児童数 482名

東小学校



〒305-0046 茨城県つくば市東 2-24-1

TEL029-851-4800 FAX029-851-4805

E-mail: higa01@tkb.ed.jp

1995年創立

17学級 児童数 403名

谷田部東中学校



〒305-0046 茨城県つくば市東 2-25-1

TEL029-855-7745 FAX029-858-1647

E-mail: yahij01@tkb.ed.jp

1988年創立

24学級 生徒数 566名

【洞峰学園の小中一貫教育】

学園教育目標：夢や希望をもち、未来に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成
～「学びをつなぐ」×「人をつなぐ」小中一貫教育を通して～

洞峰学園の目指す児童・生徒像

- 自ら考え、自ら学ぶ児童・生徒 <知>
- 心豊かで他者と協働できる児童・生徒 <徳>
- 心身ともにたくましく健康な児童・生徒 <体>

1～4年	5～7年	8～9年
身近な人と関わりながら、学習習慣を身に付け、学ぶ楽しさを味わうことができる児童	地域の人と関わりながら、学んだことを生活に活かすことができる児童・生徒	社会と関わりながら、主体的に学び、行動できる生徒



＜各校研究テーマ＞

- 小野川小** わかる・楽しい国語科学習指導の在り方
～自分の考えを書く活動を通して～
- 二の宮小** 自分らしく学び他者と協働することができる児童の育成
「みんないっしょ」から「自分にぴったり」へ！！
- 東小** 安心感の中ではぐくむ探究的で深い学びの実現
～ICTを活用した学習活動の工夫を通して～
- 谷東中** 自ら学ぶ力を育む授業づくり
～問いの発見と振り返りを核とした探究的な学びを通して～

【小中一貫教育での取組の様子】

学び部会・かがやき部会・健やか部会において推進しています。



〈環境フォーラム〉



〈学園あいさつ運動〉



〈学園学校保健安全委員会〉



〈若手研修〉



〈東小祭(吹奏楽部演奏)〉



〈命の授業〉



【洞峰学園教育目標】

夢や希望をもち、未来に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成
～「学びをつなぐ」×「人をつなぐ」小中一貫教育を通して～

＜本県の教育目標＞

ひとりひとりの能力を開発
豊かな人間性をつちかう
じょうぶな身体をつくり
たくましい心を養う
郷土を愛し、
協力しあう心を育てる

【学校教育目標】

志をもち、心豊かにたくましく生きる生徒の育成
～未来を志向し、「夢の実現」に向けた小中一貫教育を通して～

【学校経営の方針】

共に学び、共に磨き、共に鍛え、共に育つ学校づくり
～非認知能力の育成を通して～

＜つくば市の目指す
学園・学校像＞

みんなが幸せを実感できる
学園・学校
～自己実現できる学校・
みんなで支え合い、みんなが
生き生きとした学校～
・教えから学びへ
・管理から自己決定へ
・認知能力の偏重から非認
知能力の再認識へ
基本は自己決定

学 校 像

- 生徒が「夢に」向かって輝く学校
- 教師が「やりがい」をもてる学校
- 保護者や地域から「信頼」される学校

生 徒 像

- ◎自分の夢や可能性に意欲的に挑む生徒
- ◎心豊かに誠実に行動し、共に未来を創造できる生徒
- ◎健康で活力に満ち、いきいきと活動する生徒

【立志・共創・躍動】

教 師 像

- 熱意と愛情をもち生徒に寄り添う教師
- 指導力と実践力のある教師
- 未来を見つめ、改革意欲のある教師

組織目標 「生徒が主体的に活動する学校」(生徒会の思い)

- 探究的な学びの実現に向けた「協働的・対話的」な授業の実践
- 安心できる「居場所」づくりに向けた「自己決定」の場、「良さを認め合える」生徒の育成

◆保護者・地域の期待

- 安全・安心
- 学力向上
- 落ち着いた学校生活
- 進路実現
- 地域貢献

◆生徒の願い

- 主体的な活動
- 充実した学校生活
- 学びたくなる授業
- 心を許せる仲間
- 居場所のある学級

2026教育の重点

- ◎「協働・対話」を核とした教育活動
- ◎「グループワーク」「振り返り」を活用した非認知能力の再認識へ

【スクールスローガン】

輝く未来 きらめく明日への挑戦 Active 谷東!
ACTIVE5～5つの行動目標～
あいさつ、清掃、傾聴、時間、靴揃え

「未来型学力」プロジェクト

【重点目標】

* 探究的な学びの実現に向けた「協働的・対話的」な授業づくり

- ◆探究的な学びの実現に向けた授業
 - ・思考を深める課題の工夫
 - ・ゴールを明確にした単元構成
 - ・インプット⇒協働・質の高い対話⇒アウトプット⇒振り返りを重視した課題解決学習(生徒に委ねる場の適切な設定)
 - ・社会を意識する探究タイム(My探究)
 - ・地域資源を活用した魅力ある授業
- ◆ICT教育の推進
 - ・思考を広げるためのスクールAIの活用
- ◆つくばスタイル科を核とした教科横断型の学習
- ◆将来の夢に向かうキャリア教育の充実
- ◆「教育支援計画」を活用した「シームレス」な特別支援教育の充実

【数値目標◎80%以上○70%以上】

- ◎進んで授業に取り組み、自分の考えをもつ
- ◎友達との学び合いを課題解決に生かす
- 授業で「アウトプット」を大切にしている

「豊かさ・しなやかさ」プロジェクト

【重点目標】

* 自己決定できる場づくり
* 互いを尊重し合える人間関係の醸成

- ◆主体的な生徒会活動・特別活動
 - ・「L研修会」を核とした生徒主体の行事
 - ・有志による生徒会活動「かがやき隊」
 - ・いじめ防止フォーラムの実施
 - ・「人権教育」「情報モラル教育」の実施
- ◆柔軟な指導体制による道徳教育
- ◆正しく判断する力の育成
- ◆5つの行動目標「ACTIVE5」を活かした自主性・自律性の育成
- ◆9年間のつながりを意識した教育活動
- ◆「夢を実現」する系統的なキャリア教育
- ◆「折れない心」「レジリエンス」の育成と組織を活かした教育相談体制の確立

【数値目標◎80%以上○70%以上】

- 「夢の実現」に挑もうとしている
- 自分には良いところがあると思う
- ◎相手の気持ちを考えて行動できる

「たくましさ」プロジェクト

【重点目標】

* 安全で、安心して生活できる居場所づくり
* 健康で安全な生活を送る体力づくり

- ◆学年・学級経営の充実
 - ・自分たちで創り上げるための話し合い活動の充実
 - ・生徒の良さを活かした活躍の場
 - ・グループワークを活用した仲間づくり
- ◆言葉の大切さに関わる言語環境の整備
- ◆体力向上プログラムの実施
 - ・目的意識をもたせた体育の授業
- ◆地域と学校の協働による文化・スポーツ活動(DCAA)
- ◆系統的な自己管理能力の育成
 - ・アスレチックトレーナーとの連携
- ◆事故の未然防止と迅速な組織的初期対応
- ◆防災教育、交通安全教育等の充実
- ◆「生命の安全教育」の推進

【数値目標◎80%以上△60%以上】

- ◎自分の健康や安全を考えて行動できる
- ◎心身ともに成長していると思う
- △体力テストA+Bの人数増加

地域とともにある学校づくり



学 校 評 価

◇地域とともに歩む学校づくり

- ・CSを核とした地域・保護者との協働・連携体制の構築
- ・積極的な情報発信と学校評価の活用

◇大学・研究機関・企業との連携

◇教職員の資質・能力の向上

「与えられる研修」⇒「求める研修」へ

- ・「学びの連続性」を保障する学園研修
- ・相互参観・教員評価を生かした資質・能力の向上

働き方改革の推進

- 【数値目標】超過勤務45時間/月以内
- ・部活動地域連携事業・45分休憩の確保
- ・有給休暇の取得・日課の工夫

コンプライアンス意識の醸成

- 【目標】不祥事ゼロ!
～自己理解・センシングとコントロール～
- ・当事者意識を高める研修内容と実施方法の工夫
- ・教員評価の活用・組織的相談体制

令和8年度 学校経営の基本構想（グランドデザイン）Ver2.1

つくば市立小野川小学校

本県の教育目標	茨城県学校教育指導方針
ひとりひとりの能力を開発し 豊かな人間性をつちかう じょうぶな身体をつくり たくましい心を養う 郷土を愛し 協力しあう心を育てる	第2次 茨城県総合計画（2026～2029年） 基本理念 『活力があり、県民が日本一幸せな県』 Ⅲ「新しい人材育成」 茨城県の未来をつくる「人財」を育て、日本一子どもを産み育てやすい 県を目指す 政策Ⅰ次世代を担う「人財」Ⅱ魅力ある教育環境

本市が目指す学校像 ☆みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園

洞峰学園教育目標 夢や希望をもち、未来に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成
～「学びをつなぐ」×「人をつなぐ」小中一貫教育を通して

学校教育目標 自ら学び、心豊かな、たくましい児童の育成

組織目標 一人ひとりを大切にする組織づくり

学級経営を通した望ましい集団づくり

楽しい授業づくり

主な教育活動

○自己存在感の感受 「自分も一人の人間として大切にされている」

- ・児童理解、児童との人間関係づくり 一人一人の個性の発見とよさや可能性の伸長
- ・（認知能力偏重から非認知能力の再認識へ） 「やる気」「最後までやり抜く気概」「リーダーシップ」「協調性」等

○共感的な人間関係の育成 認め合い・励まし合い・支え合える学習集団

- ・支持的で創造的な学級づくり 「楽しいから学校に来る 友達がいるから楽しい」 学級が望ましい集団となっている
- ・自他の個性を尊重し、相手の立場に立って考え、行動できる相互扶助的で共感的な人間関係を創りあげる

○自己決定の場の提供 （管理から自己決定へ） 「自分で決めるから自分の行動に責任がもてる」

- ・自ら考え、選択し、決定する、あるいは発表する、制作する等の体験の重視（特別活動）
- ・自己決定は自己責任につながる、その繰り返しが自立につながる 当事者意識を醸成する（社会の構成員となる）

○安心・安全な風土の醸成 お互いの個性や多様性を認め合い、安心して授業や学校生活が送れるような風土

- ・人権意識の高揚 いじめ早期発見、即対応、継続的観察
- ・当事者意識を高めるコンプライアンス研修の実施 計画的な安全点検の実施

○授業の充実 （教えから学びへ） 「教わる」から「学ぶ」への転換

- ・児童の活動が主となる授業 児童が考え、話し合い、判断し、活動する授業 実体験を大切にする学び
- ・学ぶ意欲を高める手立て 児童がワクワクとモヤモヤを繰り返す探究的で楽しい授業を準備し展開する

○心身ともにたくましい健康な児童の育成 自己管理能力の育成を基盤とした健康、安全教育の実践

- ・教育相談の実施 個の特性の適切な見取り 合理的配慮 SCとの連携
- ・体育学習時の運動量の確保 体育的行事の充実 健康と衛生に対する児童の意識高揚

○教職員の資質向上

- ・職員の自発的な研修の実践
- ・信頼される教職員であるために服務規律の確保を図る

コミュニティ・スクールとの連携

◎地域と共にある学校 ◎熟議

子供は地域の担い手 地域が求める資質・能力を共有する

やりがいと働き方のバランス

◎自発性を大切にする ◎支持的な職場環境

職員のアイデアを生かす職場 お互い様の意識 量的・心的負担の軽減を図る

・1年間における1か月時間外在校等勤務時間の平均時間を30時間程度にする

・一人の年間の休暇（年休、特休、療休等）取得時間を150時間程度にする

達成状況の評価

- ・単元テスト・県学力診断のためのテスト・全国学力学習状況調査・学校評価アンケート
- ・キャリアパスポートの記述・教育相談・学校生活アンケート・体力テスト 等



令和8年度 洞峰学園二の宮小学校グランドデザイン



本県教育目標 ○ひとりひとりの能力を開発し、豊かな人間性をつちかう ○じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う ○郷土を愛し、協力しあう心を育てる	洞峰学園教育目標 夢や希望をもち、未来に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成 学校教育目標 互いの思いを大事に、協働し（関わり合い）高め合う児童の育成	つくば市の目指す学園学校像 みんなが幸せを実感できる学園・学校・幼稚園 ～自己実現できる学校・みんなが支え合い、みんなが生き生きとした学校
目指す学校像 「あなたの思い 自分思い どちらも大事 笑顔あふれる学校」	目指す教師像 ・自ら学び続け、挑戦を楽しむ教師 ・愛情をもち、児童に寄り添う教師 ・働きがいと幸せを実感できる教師	
学校経営の重点	1 互いの思いを分かり合い、温もりある学年・学級づくり 2 問いから始まる探究的な学びの推進 3 家庭・地域と連携した安全安心な学校づくり 4 一人ひとりの教育的ニーズに応じた多様性への指導の充実 5 教職員の資質向上と働き方改革の推進	
組織目標	1 個別最適な学びと協働的な学びの実現に向けた授業づくり 2 自他の思いを大事にする笑顔いっぱいの学年学級づくり 3 働きがいと幸せを実感できる教職員集団づくり	



研修テーマ

自分らしく学び、他者と協働することができる児童の育成
 ～「みんないっしょ」から「自分にぴったり」へ！！～

自ら学ぶことを 楽しむ児童	互いの思いを大事に 関わり合う児童	最後まであきらめず やりぬく児童
キャッチフレーズ「に・の・み・や」で育む非認知能力 意欲・向上心 <u>にこにこ</u> 自信・自尊感情・楽観性 <u>のびのび</u> 共感・社交・コミュカ・協調 <u>みとめあい、みがきあい</u> 自制心・忍耐力・回復力 <u>やりぬく心</u> <u>さいごまで</u>		
		○自分も友だちも、笑顔になれる！ ○やりたいことができる！ ○自分と友だちのよさを生かして、協力できる！ ○目標に向かって、やりぬける！

一人ひとりのニーズに応じた多様性への指導の充実

- 自立と社会参加に向けた特別支援教育の充実
- ボランティアと連携した日本語指導教室の充実
- 校内フリースクールの活用
- OSC、SSW、関係専門機関等との連携

学校・家庭・地域安全安心な学校づくり

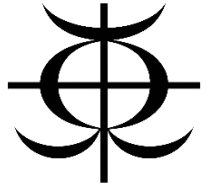
- 保護者、ボランティア、ゲストティーチャー等の有効活用
- コミュニティ・スクール協議会を通じた協働活動の拡充
- 学校だより、学校ホームページ等による定期的な情報発信

教職員の資質向上と働き方改革の推進

- 教職員同士の対話（しゃべり場）の拡充による協働し、支え合う同僚性の構築
- 授業改善とニーズに応じた研修の充実による教職員の資質能力の向上
- 計画的な研修によるコンプライアンス意識の向上
- 持ち味を生かした学校運営参画による働きやすさと働きがいの向上
- 超過勤務時間 45 時間以内 月 2 回の定時退勤日
 最終退校時刻の厳守 休憩時間の設定 等



令和8年度 洞峰学園つくば市立東小学校グランドデザイン



洞峰学園教育目標：夢や希望をもち、未来に向かってたくましく生きる児童・生徒の育成

本県教育の目標

- ひとりひとりの能力を開発し豊かな人間性をつちかう
- じょうぶな身体をつくりたくましい心を養う
- 郷土を愛し協力しあう心を育てる

つくば洞峰学園の目指す児童・生徒像

・自ら考え、自ら学ぶ児童・生徒 ・心豊かで社会力のある児童・生徒 ・心身ともにたくましく健康な児童・生徒

1～4年

身近な人と関わりながら、学習習慣を身に付け、学ぶ楽しさを味わうことができる児童

5～7年

地域の人と関わりながら、学んだことを生活に生かすことができる児童・生徒

8～9年

社会と関わりながら、主体的に学び、行動できる生徒

つくば市 目指す学園・学校

- みんなが幸せを実感できる学園・学校（自己実現できる学校・みんなで支え合い、みんなが生き生きした学校）

校 訓

自ら学び
心ゆたかに
たくましく

9年間の学びの連続性を大切にした教育の実践
・楽しく感動のある教育の実践 ・地域に根ざした教育の推進

学校の教育目標 自ら学び、心豊かに、たくましく生きる児童の育成

学校の組織目標 1. 特別活動で協働して実践する力を育成する学年・学級経営
2. 意識改革と業務改善で進める働き方改革

研究テーマ 安心感の中ではぐくむ探究的で深い学びの実現
～ICTを活用した学習活動の工夫を通して～

自らの学び

【重点目標】教えから学びへ
～個別最適な学びと協働的な学びの実現～

1. 主体的・対話的で深い学びの実現
○自ら課題を設定し、他者と協働するなどして課題を解決する学習の充実に向けた指導計画の工夫
○学習意欲を引き出す課題設定の工夫や、考えを広げたり深めたりする発問の工夫
○習得した概念や考え方を活用し、新たな問いを見いだして解決する授業の工夫
2. 基礎的・基本的な知識・技能の習得と思考力、判断力、表現力等を育む授業の工夫
○知識・技能の確実な習得を図るための体験的な学習や繰り返し学習の充実
○自分の考えをもち、他者の考えとの共通点や相違点を捉え、考えを深めていく活動の工夫
3. 個に応じた多様な指導方法及び指導体制の工夫改善
○チーム・ティーチングや習熟の程度に応じた学習、少人数指導の充実
○効果的な場面や方法を想定したGIGA端末の活用
○専門性を生かした教科担任制
4. どの子も活かし、どの子も伸ばす教育の充実
○ユニバーサルデザインの視点を活かした授業づくり
【授業改善：教えから学びへ3つのポイント】
(1)自ら学ぶ意欲を高める
～学習課題へのこだわり～
・試行錯誤できる課題の設定
・解決の見通しをもたせる
(2)学び合うために
～対話へのしかけ～
・自分の意見をしっかりとらせる
・教師が対話を生みだすように発問する
・お互いの意見を共有するための指導、手立て
(3)学びを自覚するために（メタ認知）
～振り返りの工夫～
・時間を確保する
・視点を与える
～学びが連続する家庭学習～
・自分が分からない所、できない所を把握し、それを解決できる自律的な学習者を育てる

ゆたかな心

【重点目標】管理から自己決定へ
～自分で考え、判断し、行動するために～

1. みんなで、よりよい学級・学校生活をつくる特別活動の充実
○自分たちで考え、判断し、行動する活動の重視
○発達段階に応じた当番活動と係活動の指導と評価
○いじめ等の未然防止につながる自主的な取組の推進
○異年齢集団の活動の日常化（登下校、清掃活動）
2. どの子も活かし、どの子も伸ばす教育の充実
○ユニバーサルデザインの考えで進める学級経営
【学年・学級経営の充実：管理から自己決定へ2つのポイント】
(1)学級経営で協働して実践する力を育む
～互いの価値観を尊重し、協調しながら解決策をみつける～
・相手の考えを理解するための傾聴の推進
(2)特別活動で協働して実践する力を育む
～対話を通した、多様な自己決定場面の設定～
・対話を通して納得解をつくるプロセスの重視
・係活動の充実 指導と評価の視点：
「進んで」「協力して」「工夫して」「責任をもって」
3. 道徳科を要として学校の教育活動全体を通じて行う道徳教育の充実
○「考え、議論する道徳」の推進
【指導方法の工夫7つの視点】
(1)書く活動の工夫 (2)教材提示の工夫
(3)話し合い方法の工夫 (4)表現活動の工夫
(5)板書の工夫 (6)説話の工夫
(7)発問の工夫
○感謝と思いやりの心を育てる人権、福祉体験活動の推進
4. 時代の変化やグローバル社会に対応できる教育の推進
○「いばらき キャリア・パスポート」を活用したキャリア教育の推進
○自国文化や異文化の理解を深める国際教育の充実
○SDGs（持続可能な開発目標）時代におけるESD（持続可能な開発のための教育）の推進
○家庭との連携による情報モラル教育の推進

たくましさ

【重点目標】実践力へ
～健康で安全な生活を送るために～

1. 体力の向上
＜体育の時間に＞
○授業の導入におけるサーキットトレーニングの実施
○体力向上タイムの設定
＜昼休みに＞
○スポーツチャレンジの活用
○自発性を促す運動環境整備
・運動（遊び）の場の設定
・運動（遊び）道具の開発
・運動（遊び）の提供
＜家庭で＞
○動画を活用して
○体づくり運動（実生活に生かす運動）の計画・実践
2. 健康教育の充実
○学校栄養職員、養護教諭・担任との連携による食育及び保健指導
○「早寝早起き朝ごはん」運動の推進（毎月19日からの1週間を推進強化週間）
○飲酒・喫煙・薬物乱用防止・性・がんに関する指導の充実（外部講師の積極的な活用）
3. 安全教育の充実
～危険予測能力・危険回避能力の育成～
○安全について児童が自ら考える場を設定
○保健学習や学級指導を充実

安全・安心な学校づくり

1. 食物アレルギー対応力の向上
2. AED及び心肺蘇生法の定期的な研修
3. 地域との連携による学校防災連絡会議及び学校防災推進事業の実施

教師力・学校力の向上

1. 「教員の資質の向上に関する指標」を基にしたキャリアステージに応じた人材育成
2. GIGA端末の活用推進
3. 教員評価を活用した人材育成並びに学校活性化
4. 教員の業務量の適切な管理（働き方改革）の推進
5. 教育公務員としての自覚と服務規律の確保

地域とともにある学校づくり

1. 家庭・地域との連携・協働「社会に開かれた教育課程」の推進
○グランドデザインの周知
○研究機関等によるつくば科学出前レクチャーの実施
○学校支援ボランティア（学習活動支援、環境整備支援、安全確保、その他の活用推進）
○学校広報の充実
・教育活動の実事並びにねらいを明記したホームページによる情報発信の充実
・グランドデザインに基づく教育活動を展開する学校公開
○説明責任と学校・家庭・地域の連携教育による学校づくりを進めるための学校評価の活用
2. 保幼小連携協議会の定期開催並びに東幼稚園との交流・連携の推進
3. 地域との連携による学校防災連絡会議の開催並びに学校防災推進事業の実施
4. 洞峰学園コミュニティ・スクールにおける「地域学校協働活動」の推進